

第6回全日本企業対抗ゴルフトーナメント個人戦
大会ルール
～ 全国決勝大会 ～

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び大会ローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. 使用球についての規格及び規則

R&A公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。

4. キャディとカート

各選手はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。

（徒歩プレーの会場を除く）

大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。

違反があった各ホールに対し2罰打。ただし、1ラウンドにつき最高4罰打まで。

（違反のあった最初の2ホールに各2打の罰）

4-2 セルフプレーの会場

キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の

1番の選手は1番目のホールから5番目のホール カートのリモコンを操作する。

2番の選手は6番目のホールから9番目のホール カートのリモコンを操作する。

3番の選手は10番目のホールから13番目のホール カートのリモコンを操作する。

4番の選手は14番目のホールから18番目のホール カートのリモコンを操作する。

但し、お互い了解の上カートのリモコンを操作する場合は、カートのリモコンを操作する順番をじゃんけんで決めることができる。

5. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。

この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。（前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く）

6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定

■全員が9ホールズを消化している場合→競技成立

■全員が9ホールズを消化していない場合→競技不成立

※タイスコアの場合は9Hの最終ホールからのカウントバックで勝敗を決める。

※OUT、IN 両方からスタートした場合は、それぞれ平等に順位が与えられる。

※短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィの減額は有りませんので、予めご了承くださいませ。

7. 第2の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。

第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会の裁定をあおぐこと。

8. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、指定練習グリーンでのパッティング練習は行っても構わない。

9. クラブに関して

JGA 付属規則Ⅱの4c (i) のペンデュラムテストプロトコル (R&A内規) の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド (いわゆる高反発クラブ) の使用を禁止する。

※「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

10. 距離測定機について

距離測定機の使用は認める。

但し、勾配や風速・風向を計測する機能を有する機器の使用は認めない。

例) レーザー距離測定器で高低差が表示されるもの→使用不可

(勾配を計測している)

例) スマホ等携帯電話アプリの使用は、距離測定機能の他の分析機能を有する機種が多く疑わしい行為となり、他の選手の気を散らす原因になるので禁止とする。

1 1. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

1 2. プレーにおける規則

【JGAゴルフ規則6-7】プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。

規則6-7の違反の罰は、ストロークプレーでは2打。その後更に同じ違反があった場合は競技失格。

<当競技委員会のスロープレーに関するガイドライン>

スロープレーとは前の組と15分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。あるホールで前の組と15分以上離れてしまって、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで15分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。また、前半9ホールズを前の組より15分以上遅れてホールアウトし、後半の9ホールズも前の組と15分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。

※通常、前の組との間隔は7分～8分です。

1 3. タイスコア時の決勝方法

タイスコアの場合はOUTスタート、INスタートに関わらず18番ホールからのカウントバックで勝敗を決める。

1 5. 競技不成立になった場合

陰悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。

以上

2018年10月3日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会

東京よみうりカントリークラブ
ローカル・ルール

2019年1月8日改訂

- ① アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ② 修理地の区域は青杭、限界は白線をもって標示する。
- ③ 予備グリーン（カラーを含む）は**目的外グリーン**とし、**規則 13.1f**による救済を受けなければならない。
- ④ コース内の樹木の支柱・支線、排水溝の柵・蓋、金網、橋梁、その他人工施設物は動かさない障害物とする。
- ⑤ 14・16・17番ホールで電線に球が当たった場合は罰なしで元の位置から打ち直さなければならない。
- ⑥ 3・4・18番ホールの池はレッドペナルティエリアとする。その境界は赤杭をもって標示する。
- ⑦ グリーン上ではパター以外のクラブの使用を禁止する。
- ⑧ ストロークプレーの競技ラウンド中はホールアウトを終えたグリーン上において、又、このグリーンを目標として練習することはできない。
- ⑨ 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は全幅をもってカート道とみなす。打球がこのカート道上にある場合、救済のニヤレストポイントを決定し、**規則 16.1**に基づきドロップしなければならない。
- ⑩ グリーンから2クラブレンジス以内にある動かさない障害物が球より2クラブレンジスの範囲内にあり、球とホールの中のプレーの線上にかかっている場合、無罰でホールに近づかずに障害物の介在が避けられる、球のあった箇所が一番近い地点にドロップすることができる。

ゴルフ規則によって別に定められている場合を除き、本ローカルルールの違反の罰は「2打」とする。

※委員は必要に応じ、臨時ローカルルールを規定することがある。その場合はクラブハウス内に掲示し、その日より効力を発生するものとする。

東京よみうりカントリークラブ 競技・ルール委員会

※ **■**印は大会ルールとする。

=追加大会ルール=

<コールオン>

本競技では、パー3のホールに限り、コールオン方式を採用する場合があります。採用する際は、競技委員が立ち会いまたは指示のもと、コールオン方式を実施するので、その場合は従ってください。選手が勝手にコールオン方式を採用した場合、ゴルフ規則 5.7.a の違反（プレーヤーは自らの判断でプレーを中断することはできず、認められる状況でないのに中断した）とみなされます。

ヤーデージ（ベントグリーン使用予定）

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	4	3	4	5	4	5	4	3	4	36
FRONT（金）	341	134	354	467	323	479	331	166	342	2,937
REGULAR（白）	374	160	373	479	354	500	359	171	421	3,191
BACK（青）	396	190	403	518	384	541	389	197	448	3,466
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN
PAR	4	5	4	4	4	3	4	5	3	36
FRONT（金）	384	463	388	412	294	157	360	473	189	3,120
REGULAR（白）	407	489	408	435	324	170	381	520	202	3,336
BACK（青）	432	507	432	460	364	194	410	535	224	3,558

男性：バックティ（青） 男性シニア：レギュラーティ（白） 女性：フロント（金）

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上

2018年10月24日
全日本企業対抗ゴルフトーナメント
競技委員会

東京よみうりカントリークラブ

特別ローカル・ルール

15 番ホール

打球が指定したカート道、作業道路の上、および越えた場合は、無罰で指定箇所（黄色いティマーカー）内にドロップして打たなければならない。

東京よみうりカントリークラブ

競技・ルール委員会